

令和5年(2023年)6月12日  
午後3時～午後3時40分  
於：高層棟4階 特別会議室  
児童部子育て政策室

## 令和5年度 第2回政策会議 子供の習い事費用の助成事業の新設

多様な学び・経験の機会に触れることができるよう、スポーツ、芸術、学習等の習い事の費用助成を行うものです。

### 1 事業検討の背景

- (1) 令和4年(2022年)6月、「子供の生活状況調査」を実施

実施目的：本市における子供の生活状況や貧困の実態を包括的に把握するため

調査結果：① 困窮世帯ほど学習理解度及び部活動参加率が低い傾向

② 経済的理由により子供の習い事を諦めた比率が高い

⇒ 所得格差による学び・経験の機会の差の存在



- (2) 令和5年(2023年)3月、「第2次吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」策定

基本理念：すべての吹田の子供たちが夢と希望を持って、成長していける地域社会の実現



習い事費用の助成により、多様な学び・経験の機会の確保を実現へ

### 2 子供の習い事費用の助成事業の概要

- (1) 助成対象者【対象児童・生徒数：1,145人(令和4年9月末時点)】

市内在住の小学校5年生から中学3年生までの児童又は生徒の保護者で、生活保護世帯に属する又は児童扶養手当を受給する者

- (2) 助成額

対象児童・生徒1人につき月額10,000円

- (3) 助成対象となる学校外活動

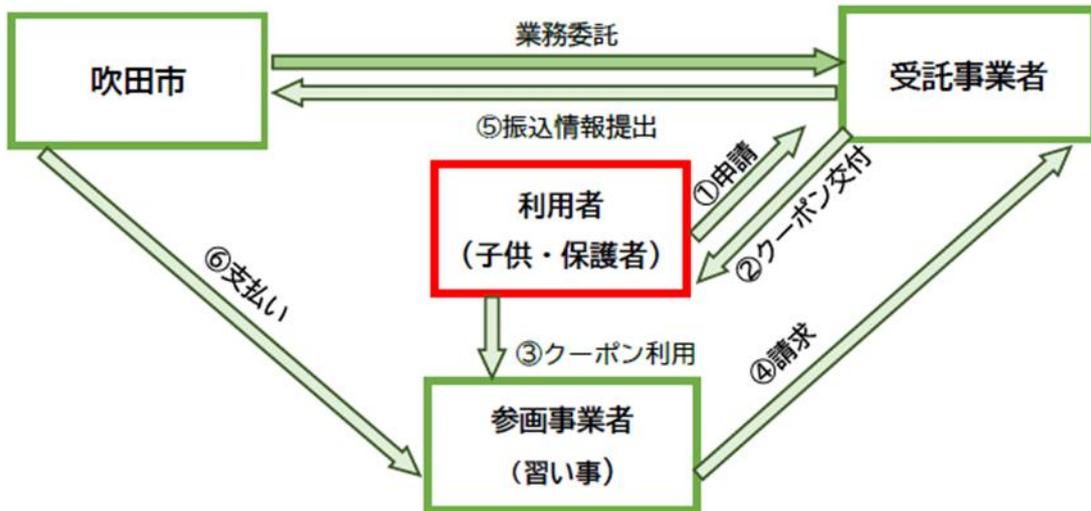
スポーツ、芸術、学習等の習い事

- (4) 開始時期

令和6年(2024年)4月

(5) 事業スキーム

- ・ 助成対象者に対する電子クーポンの交付
- ・ 業務の一部を事業者へ委託



3 事業費※1

単位：千円

	助成額相当分※2	委託費相当分※3	合計
令和5年度(2023年度)		26,500	26,500
令和6年度(2024年度)	109,920	45,100	155,020
令和7年度(2025年度)	109,920	45,100	155,020

※1 今後の予算査定で精査予定

※2 「対象者数×10,000円×12か月」を基準に対象者の8割の利用を想定

※3 主な委託業務は、習い事事業者の開拓・登録、申請の受付、クーポン交付、振込データ作成、専用HP作成、コールセンター開設及びアンケート分析

4 今後のスケジュール

令和5年7月 定例会に補正予算案を提案

令和6年2月 市民周知開始(個別勧奨、専用HP、LINE等による周知)

令和6年4月 助成事業開始

5 先行自治体（大阪市、福岡市）の習い事助成事業の制度概要※1

単位：千円

自治体名 (人口)	助成対象児童	助成金額 (月額)	予算額 (令和5年度)	利用率 ※2
大阪市 (約275万人)	小学校5年生から中学3年生までの児童の半数(当該数となるよう所得要件を設定。約50,000人)	10	3,715,000	60.7%
福岡市 (約163万人)	生活保護受給世帯又は児童扶養手当受給世帯に属する小学校5年生から中学3年生(約8,000人)	10	428,390	

※1 モデル事業としての実施例有（箕面市 令和元年度～令和4年度）

その他北摂各市、大阪府内中核市及び NATS 各市における事業実施例はなし

※2 大阪市の利用率は、想定助成対象者数（30,149人）に占める1か月以上利用があった生徒の割合